

平成30年度 山形県公営企業会計決算の概要

純利益：35.6億円
※4事業ともに黒字決算

令和元年7月
企業局

1 電気事業

(1) 事業概要

発電事業者として15ヶ所の発電所で発電を行い、電力会社へ電力を売電している。

- ・水力発電所 14ヶ所
- ・太陽光発電所 1ヶ所

(2) 業務量

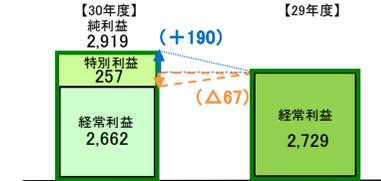
(単位:千kWh)

	販売電力量		
	30年度	29年度	増減
水力	365,820	405,154	(△9.7%) △ 39,334
太陽光	1,268	1,246	(1.7%) 22
合計	367,088	406,400	(△9.7%) △ 39,312

《H30年度の主な取組み》

- ・朝日川第一発電所のリニューアル(H26～R2):土木建築工事等
- ・倉沢発電所のリニューアル(H30～R7):基本設計
- ・肘折発電所のリニューアル(H30～R7):基本設計
- ・寿岡連絡送電線鉄塔の建替(H23～R5)
- ・老朽化が進んだ発電施設の健全度調査(H30～R2)
- ・県営風力発電所の建設(H30～R2)

(3) 損益 (単位:百万円)



《主な増減要因》

【収入】

- ・7月の少雨の影響による水力発電電力料の減 △14百万円(特別利益)
- ・山形R直行特急保有線の解散に伴う残余財産分配金の皆増 +221百万円
- ・H29野川第二発電所落雷事故に係る共済金収入の皆増 +35百万円

【支出】

- ・発電施設健全度調査の実施による委託費の皆増+62百万円

<参考> R元年度の主な取組み

- ・朝日川第一発電所のリニューアル:土木建築工事等
- ・倉沢発電所のリニューアル:基本設計・地質調査
- ・肘折発電所のリニューアル:基本設計・地質調査・実施設計
- ・寿岡連絡送電線鉄塔の建替
- ・老朽化が進んだ発電施設の健全度調査
- ・県営風力発電所の建設

2 水道用水供給事業

(1) 事業概要

村山、最上、置賜、庄内の4広域水道用水供給事業において、県内11市12町に対して、水道用水を供給している。

(2) 業務量

(単位:千m³)

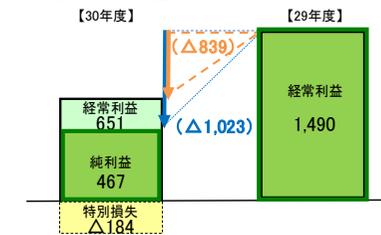
	給水量		
	30年度	29年度	増減
村山	29,953	30,964	(△3.3%) △ 1,011
最上	5,510	5,663	(△2.7%) △ 154
置賜	15,881	16,676	(△4.8%) △ 794
庄内	23,402	23,708	(△1.3%) △ 306
合計	74,746	77,011	(△2.9%) △ 2,265

(注)単位未満四捨五入のため増減等において一致しない場合がある。

《H30年度の主な取組み》

- ・(村山)河北線送水管路の耐震化(H25～R2)
- ・(置賜)川西線送水管路の耐震化(H25～R3)
- ・(村山)浄水施設の耐震化

(3) 損益 (単位:百万円)



《主な増減要因》

【収入】

- ・H30からの水道料金引き下げに伴う給水収益の減 △885百万円

【支出】

- ・庄内広域水道の水道料金収入の一部返還に伴い発生した費用の皆増 +184百万円

<参考> R元年度の主な取組み

- ・(村山)河北線送水管路の耐震化
- ・(置賜)川西線送水管路の耐震化
- ・(庄内)浄水施設の耐震化
- ・(最上)水質事故等に備えた緊急排水設備の整備

3 工業用水道事業

(1) 事業概要

酒田、八幡原、福田の3工業用水道事業において、県内の主要工業団地に立地する企業等54社60事業所に対して、工業用水を供給している。

- ・酒田：酒田臨海工業団地・鳥海南工業団地
酒田川南工業団地 [25社30事業所]
- ・八幡原：米沢八幡原中核工業団地 [23社24事業所]
- ・福田：新庄中核工業団地 [6社6事業所]

(2) 業務量

(単位:千m³)

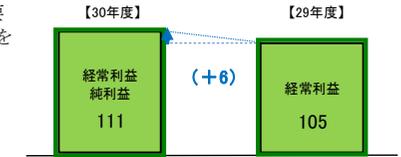
	給水量		
	30年度	29年度	増減
酒田	11,414	10,245	(11.4%) 1,169
八幡原	3,565	3,554	(0.3%) 11
福田	570	407	(40.0%) 163
合計	15,549	14,207	(9.5%) 1,342

(注)単位未満四捨五入のため増減等において一致しない場合がある。

《H30年度の主な取組み》

- ・(福田)新規参入企業への給水に伴う配水管の布設

(3) 損益 (単位:百万円)



《主な増減要因》

【収入】

- ・新規企業等への給水に伴う給水収益の増 +41百万円

【支出】

- ・酒田工業用水道の塩水遡上に係る仮設取水設備設置に要した経費の皆増 +29百万円

<参考> R元年度の主な取組み

- ・(福田)老朽化に伴う取水場予備ポンプの更新

4 公営企業資産運用事業

(1) 事業概要

県営駐車場、県民ゴルフ場、緑町会館の運営などを行っており、このうち、県営駐車場と県民ゴルフ場は指定管理者制度を導入している。

(2) 業務量

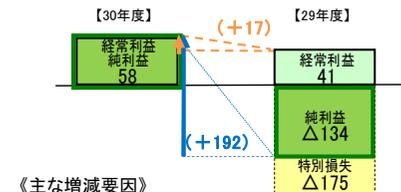
(単位:台・人)

	業務量		
	30年度	29年度	増減
県営駐車場	100,307	112,259	(△10.6%) △ 11,952
県民ゴルフ場	29,481	30,630	(△3.8%) △ 1,149

《H30年度の主な取組み》

- ・(緑町会館) 今後の老朽化対策に向けた保全計画の作成等
- ・(県営駐車場) 老朽化に伴う照明設備の更新等

(3) 損益 (単位:百万円)



《主な増減要因》

【収入】

- ・元鶴岡城北町公舎跡地の売却益の皆増 +31百万円

【支出】

- ・H29県立図書館改修に伴う緑町会館駐車場用地の一部返還による特別損失の皆減 △175百万円

<参考> R元年度の主な取組み

- ・(緑町会館) 老朽化に伴う冷温水発生機の更新等
- ・(県営駐車場) 老朽化に伴う照明設備の更新等

5 公営企業全体(4事業合計)



《純利益の用途》

- ・建設改良積立金への積立等 2,156百万円
- ・一般会計繰出金 1,400百万円

<概況>

平成30年度は、5つの重点項目を掲げ、「山形県企業局経営戦略」の着実な推進を図った。

【平成30年度の重点項目】

- 1 計画的・効率的な施設設備の更新による安全・安心なサービスの提供と経営基盤の強化
- 2 危機管理対策の推進
- 3 再生可能エネルギーの導入・拡大
- 4 市町村とのさらなる連携の推進
- 5 地域貢献の推進